

令和元年度学校関係者評価報告書

東日本栄養医薬専門学校は、本校の目的および社会的使命を達成するため、教育活動の状況について、自ら行う点検及び評価を実施し、さらに学校関係者評価委員会での評価を実施し、この報告書にまとめた。

基準 1	教育理念・目的
基準 2	学校運営
基準 3	教育活動
基準 4	教育成果
基準 5	学生支援
基準 6	教育環境
基準 7	学生の募集と受け入れ
基準 8	財務
基準 9	法令等の遵守
基準 10	社会貢献

令和元年6月29日

学校法人 山崎学園
東日本栄養医薬専門学校

基準 1 教育理念・目的

教育理念・目的については、栄養士学科、医薬学科共に定められ、パンフレット・募集要項・ホームページ等を使用し広く明示するに止まらず広報担当者や現場教員が積極的に高校等に出向き周知している。また、学校の特色として栄養士学科では、制約のある中、調理実習時間を拡充し栄養士本来の業務に必要な調理技術に止まらず「調理の得意な栄養士」を目指している。医薬学科は、薬に関する知識、販売技術等を机上の学問に止まらないようデュアルシステムを採用し、実務経験を積ませている。

基準 2 学校運営

学校運営については、姉妹校との協業で実施される学校行事を始め学校独自の行事も年度当初までに計画され実行されている。各行事には担当教員が配置され運営に当たっている。また、年間の授業計画策定にあたり月曜日の授業日数が圧迫されているため、事前に授業日数に余裕のある曜日との交換等により曜日間の差異を最小限になるよう努めている。

人事や賃金に関する制度は、完全には整備されていない。教職員のモチベーション向上のためにも、信頼性、公平性のある人事考課と賃金制度の更なる整備が必要なのではないか。

基準 3 教育活動

各学科において、それぞれ、養成目的、資格取得、就職分野を明確にし、教育目標、教育活動は、関連する業界のニーズに的確に対応するよう情報収集や連帯に努めている。

栄養士学科は、厚生労働省の指定する栄養士養成施設としてのカリキュラムに加え、2年の夏休み期間中に実施する給食校外実習等を活用し、現場管理栄養士からの意見なども集約し、即戦力となり得る栄養士を目指してカリキュラム編成を行っている。

医薬学科は、登録販売者試験に合格する事のみならず、校外実務研修（インターンシップ）の実施期間中に現場管理者より卒業までに必要な店舗運営等に関する情報を収集し、店舗運営等に必要な知識・技能を身につけるためのカリキュラム編成を行っている。又今年度は、NR・サプリメントアドバイザー資格取得のためのカリキュラム編成を行った。

基準 4 教育成果

教育成果の一つとして就職実績を上げる事が出来る。両学科とも就職担当者と担任が連携して就職指導に当たっており、毎年高い内定率になっており、栄養士学科の生徒の多くは栄養士の資格を活用できる給食関連の企業へ、医薬学科の生徒の多くは、登録販売者の資格を生かしたドラッグストア関連の企業に就職する事が出来ている。

栄養士学科は、2年間の成果として卒業と同時に栄養士の資格を取得することが出来る。また、希望者には介護食士、NR・サプリメントアドバイザーなどの資格取得も進めている。

医薬学科は、本学科の登録販売者試験の合格率が高いので、今後とも高い合格率が維持出来るよう工夫と努力をしていく。

基準 5 学生支援

各クラスに担任・副担任を設け、クラス運営、日常の指導を行っている。また、就職活動に関してもロングホームルーム等を活用し、履歴書の書き方を始め、就職担当による就職指導・模擬面接指導等が実施されている

課外活動に関して、食育研究サークルやボランティアサークル・バドミントンサークル・音楽部等、他校と連携し運営するとともに、教職員を顧問として配置し、適正な運営が行われている。

保護者会を組織し、保護者会の活動を通じて保護者との連携を取る努力がされている。

基準 6 教育環境

清掃の行き届いた施設で勉強出来ているので、特に問題無いと思う。

施設設備は厚生労働省指定の栄養士養成施設の要件は満たしているものの、一部施設の老朽化が見られるので施設の更新を引き続き行い最新の教育施設での実習を心がけている。また、ハードウェアの充実だけではなく、近年多発している地震等の災害に対応するための防災等ソフト面の充実にも力を入れていきたい。

基準 7 学生の募集と受け入れ

パンフレットやホームページだけではなく、SNS なども積極的に活用して入学希望者に必要な情報は提供されている。また、広報担当者による計画的、組織的な募集活動の結果栄養士学科は定員を満たすことが出来ている。なお、医薬学科は定員を満たす事ができず今後とも一層の工夫と努力が必要と思われる。

基準 8 財務

財務状況が公開され経営の基盤が明確に示されている。また、財政基盤の安定のための業務執行および中長期的財政基盤についても安定していて安心できる。

会計監査は監査法人により適正に行われ、理事会、評議会に報告され適正な会計監査が行われている。

基準 9 法令等の遵守

栄養士養成施設としての法令や専修学校設置基準を遵守した適正な学校運営がなされており特に問題は無いと認識している。

教育機関としての社会的使命を果たすために、法令等の遵守について今後も継続的に取り組みたい。

基準 10 社会貢献

食文化の発信と、学生たちの学習の発表を目的に毎年学園祭を実施し、地域の方々に多数参加していただいた。また、ボランティアサークルなどの学生主体のサークルは老人福祉施設への慰問や各種イベントに積極的に参加し食育等の啓発活動を行っている。

栄養士学科の教員は栄養士会に所属し、担当教科の研究成果を発表するなどしている。